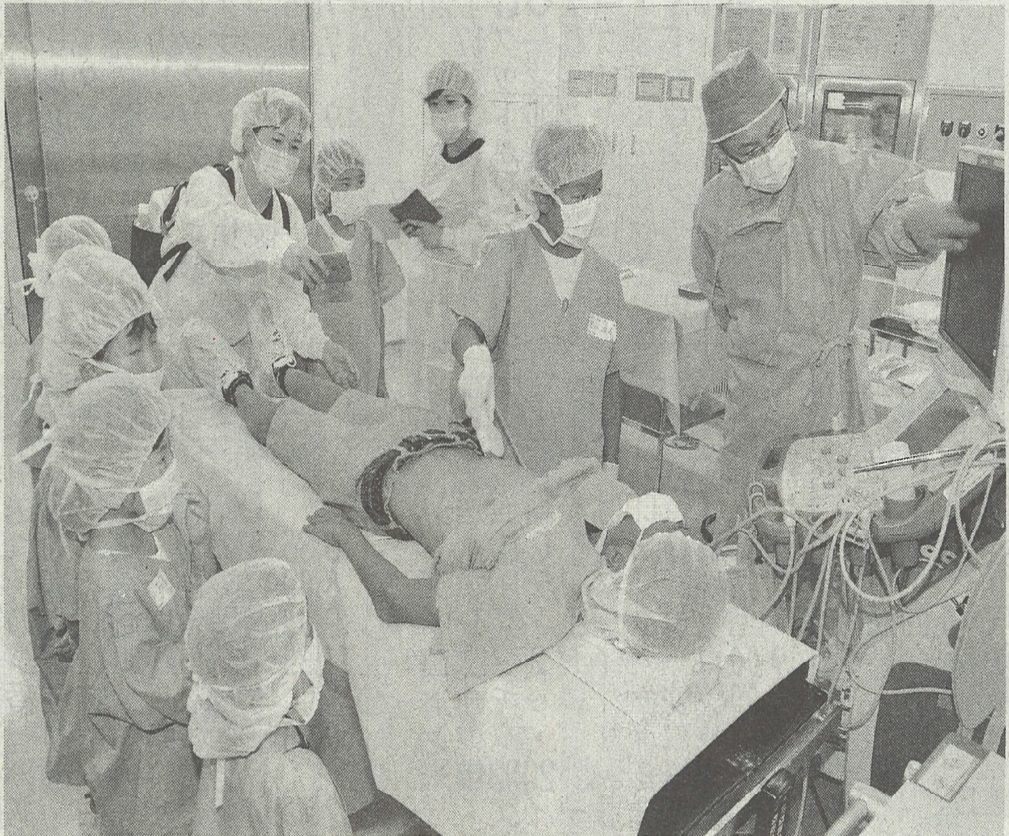


親子ら医療現場を体験

紀和病院 手術室で医師役など

超音波検査を体験する子供たち（橋本市で）



医療設備を開放するイベント「キッズ医療体験」が、橋本市岸上の医療法人南労

会・紀和病院で行われ、参加した親子ら約500人が、手術の疑似体験などを

通じて医療現場について学んだ。

同病院の実行委員会が初めて企画。先月下旬のイベントでは子供たちが手術室で医師役となり、超音波検査で端子をおなかに当てて内臓の映像を見たほか、電気メスで鶏肉に切れ目を入れ、針と糸でスポンジを縫い合わせた。また、人形を使って心臓マッサージの方法を習ったり、聴診器を胸に当てたりした。

実行委員長を務めた梅村定司医師は「人の命を救う現場の雰囲気を知ったことで、今後は安心して医療を受けることができるだろう」と話していた。